

# 授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル (科目名)		授業の種類		授業担当者	当該科目に関する実務経験
幼児体育		( 講義・ <u>演習</u> ・ 実習 )		北 進司	
授業の回数 12 回	時間数 (単位数) 24 時間 (2 単位)	幼稚園教諭専攻科 前期	必修・選択 必修		
<p>[授業の目的・ねらい及び、授業全体の内容の概要]</p> <p>・保育士、幼稚園教諭は、子どもの運動遊びや身体表現の場において、言葉による指導・助言のみに頼るのではなく、保育者自身が視覚教材となり得るような動作やしぐさを習得する必要性を理解する。したがって、身体運動に関する基本的な知識(幼児期に体得すべき基礎動作・基本的運動を含む)の理解を深めると共に、自身の運動能力を高めるため習慣や、遊びの要素を含んだ幼児体育で実践される運動遊びやゲーム、身体表現等に関する教材研究を行えるようにする。また、運動遊びにおける安全管理及び、安全教育に必要な知識を習得する。</p>					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、幼児体育の意義について(幼児体育の必要性・スキヤモンの発育曲線)</li> <li>2、幼児期の運動遊びについて(昭和初期から戦後、現代社会における乳幼児の生活と児童期への成長発達の特徴)</li> <li>3、遊びの必要性について①(遊びが乳幼児へ与える影響、運動能力測定と活用)</li> <li>4、遊びの必要性について②(固定遊具の遊び方や幼児への影響、安全指導を考察)</li> <li>5、指導計画①(年齢や障がいに合わせて指導案作成: 体育的遊び)</li> <li>6、指導計画②(年齢や障がいに合わせて指導案作成: マット・鉄棒・跳び箱あそび等)</li> <li>7、模擬保育①(対象に合わせて指導案の実践)</li> <li>8、模擬保育②(対象に合わせて指導案の実践)</li> <li>9、乳幼児の安全教育(事故の実態と原因・安全管理・安全教育)</li> <li>10、乳幼児の運動遊びの実際①(人と関わる・自然と関わる)</li> <li>11、乳幼児の運動遊びの実際②(物と関わる・遊具と関わる)</li> <li>12、乳幼児の運動遊びの実際③(素材と関わる)</li> <li>13、表現あそび(リズム遊び・音楽を使った遊び)</li> <li>14、創作リズム体操(学生同士のグループ活動を行い、創作ダンス・体操を完成し、発表)</li> <li>15、学習内容の振り返りとこれからの幼児体育(子どもの自主を育む幼児体育を考える)</li> </ol>					
<p>[使用テキスト]</p> <p>・「すこやかな子どもの心と体を育む運動遊び」(建帛社)</p> <p>[参考文献]</p> <p>・「幼児体育教本」(同文書林)</p>					
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考查点(75%)</li> <li>・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。</li> <li>・ 平常点(25%)</li> </ul>					

・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。